

令和7年度第2回広島市障害者自立支援協議会開催報告書

1 開催概要

日時：令和7年2月6日（金）19時00分～20時30分

場所：中区地域福祉センター 5階 大会議室

2 出席委員（15人）

船津委員、西村委員、河口委員、原田委員、竹本委員、松岡委員、遠藤委員、上土井委員、小島委員、江本委員、野々川委員、西河内委員、彌政委員、岡野委員、一丸委員

3 議題

(1) 日中サービス支援型共同生活援助の各地域部会での評価等結果の報告について

<委員1> ※当日欠席のため、事前に意見をいただいたもの

- ・ 事業所によっては、学生ボランティアをよく活用している。広島市社会福祉協議会でも学校と連携し、ボランティアセンターを設置しているため、必要に応じてうまく活用してもらいたい。

<委員2>

- ・ 各事業所が人材確保の難しさの中で努力している点が評価できる。
- ・ 強度行動障害支援の研修受講や資格取得への取組、医療的ケアへの対応など、事業所の苦勞と期待が読み取れた。
- ・ ケアの質向上を求める意見があった点は課題として受け止める必要がある。

<委員3>

- ・ 以前は自立支援協議会で評価していたが、現在は各区地域部会で実施しており、各区でどの点を重視して評価したのか確認したい。

<委員4>

- ・ 西区の評価内容について確認したい。

<西区の評価>

- ・ これまでと同様に評価することを心掛けつつ、他区の工夫も参考にしたい。
- ・ グループホームによる地域や町内会との連携に工夫が見られ、今後さらに地域とのつながりを強めるため、基幹相談支援センター等と協働して取り組みたいとの意向が示された。

(2) 地域生活支援拠点等の実施状況の報告について

<委員1>

- ・ 各区の主な事例の書き方にバラつきがあるので、どこまで記載するのか等揃えてもらいたい。
- ・ 各区で三障害に対応しているが、区によって障害種別の偏りや、拠点の得意分野・不得意分野がある中で、広島市全体として協力して取り組んでもらえるのか。

<事務局>

- ・ 来年度、取りまとめに当たって資料を調整したい。
- ・ 登録者は知的障害・精神障害が多いが、三障害それぞれに応じてコーディネーターが対応している中で、気になる点があれば市としても確認しながら対応したい。

<委員2>

- ・ 事前登録の対象者数や登録率は把握しているか。

<事務局>

- ・ 対象者数を厳密に調査しているわけではない。相談を受けた希望者を登録につなげる方式であり、登録率を目標化して進めているわけではない。

<委員2>

- ・ 例えば、医療的ケア児を急なショートステイで施設側が受入れる場合、事前登録があると安心して対応できるので、事前登録は大事である。
- ・ 登録を進めるに当たっては、本人・保護者への支援や周知が必要であり、相談支援事業所や行政窓口への情報共有も重要である。

<事務局>

- ・ 申込者が必ず登録に至るわけではない現状がある。
- ・ 登録により安心につながることを行政として周知していきたい。

<委員3>

- ・ 区によっては登録を断られることがあると聞く。

<事務局>

- ・ 市として実施しており、区で対応が異なることはない。登録が必要な方を対象外として断ることは基本的にない。

<委員4>

- ・ 申込者数と登録者数に差がある理由は何か。
- ・ 既存のサービスにつながっていない人にはどのように対応しているのか。

<事務局>

- ・ 登録までの間に丁寧な聞き取りを行う中で、支援者がいる場合などであれば、登録に至らないケースもある。
- ・ 登録だけでなく、本人・保護者の希望を聞きながら、利用可能なサービスにつなげている。

<委員4>

- ・ 長年家族が支えている家庭や、精神障害でサービスにつながりにくい人への支援も重要であり、8区にコーディネーターが揃ったので、今後の活躍に期待している。
- ・ 面的整備を進め、個別給付をすることで、より良い支援体制の構築ができるので、一緒に考えていきたい。

<委員5>

- ・ 地域生活支援拠点の取組状況を、実際に取り組んでいる方から聞きたい。

<南区の取組紹介>

- ・ 相談支援事業所や相談支援専門員が不足している中で、緊急時の受入れや支援者へのつなぎを行っているが、支援者につながらない現状を広島市でどうしていくか考えてほしい。

○ 自立支援協議会全体を通しての意見

<委員1>

- ・ この2年間の協議会が障害施策や医療・保険・福祉にどの程度反映されたのか疑問が残る。
- ・ 評価を見て意見を述べるだけでなく、現場と連携した小規模な協議体や委員も含めた事務局会議での意見交換により課題解決につなげていくことが必要ではないか。

<事務局>

- ・ 自立支援協議会・地域部会・ワーキンググループのあり方に課題があると認識し、検討してい

るところなので、協力をお願いしたい。

<委員2>

- ・ 障害福祉サービスの利用者が不利益を被らないよう、より良いものを作っていくために、委員が協力しながらより小さな声も拾い上げて、オーソライズしていくような会議にしないといけないと思うので、来年度の改善を期待する。